

第39号
令和5年9月21日
発行 宮城県多賀城
高等学校同窓会
翔朋会

生涯現役という生き方

翔朋会会長 及川 佳洋



今年 は 記録的 猛暑 という 言葉 が よく 聞か れる 昨今、 会員 の 皆様 に は 暑 さ に 負 ける こと な く 各 方 面 で ご 活 躍 の こと と 思 い ます。

多賀城高校もまもなく創立五十周年の節目を迎えます。秋には翔朋会も参画して記念事業実行委員会が組織され、記念事業の準備が始まりますが、自分の高校生時代に思いだしながら、既に自分が還暦を過ぎていることは棚に上げて、いささか不思議な気持ちで致します。

私を含めた1回生は既に六十三歳、ということ、4回生までは既に還暦を迎えたかまもなく迎えるかということでしょうか？一般にサラリーマンといわれる社会人の多くは六十五歳ぐらいで定年を迎え、その先は所謂「年金生活」を送ることが多いと思われま

時代の蓄えを切り崩しながら生活していくということになります。そのことに気づいた私は「本当にそれでいいのか？」「減り続ける貯え（もともとほとんど蓄えはありませんが）にドキドキしながら残りの人生を送ることしかできないのか？」と思つたら、この先の人生が不安になりました。自分自身が納得できる人生を送るためにどうすればよいかと考えました。

その結果導かれた結論は、「生涯現役として生きる」ということでした。「老後」という考えを持たずにいつまでも現役として働き収入を得ていくことで、自分自身も枯れてしまうことなく、「老後2000万円問題」や減り続ける貯貯金におびえることなく、楽しく生きられ

るに違いない。多くの人たちが生涯現役として稼ぎ、生産性を上げ続けることで、労働人口の減少に少なからず歯止めをかけられるかもしれない。何よりも一人一人が前向きな気持ちで生きがいを持つた生き方で、充実した人生を送ることができるのではないだろうか？と思つています。人生100年の時代といわ

最後にありますが、会員諸氏のさらなるご活躍とご健勝をお祈りいたします。

題字紹介
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

第45回 翔朋会総会の御案内

日時 2023年10月14日(土) 総会 15:00
会場 多賀城高校 iRisホール

- 今回の幹事学年は以下の年度の方々です。
5回生(昭和59年3月卒業) 15回生(平成5年3月卒業)
25回生(平成15年3月卒業) 35回生(平成25年3月卒業)
45回生(令和5年3月卒業)
それぞれ同期の方をお誘いください。
- 今年度は総会のみを学校施設のiRisホールで実施いたします。本校の災害科学科設置に合わせ、平成30年3月26日に竣工しました。

県内高校でも類を見ない大規模な階段教室で、冷暖房・音響機器・ICT環境が整備されています。300人を収容でき、各学年集会のみならず講演会や課題研究発表会、東日本大震災メモリアルdayなどの行事や授業・課外講習に日々活用しています。デュアルスクリーンによる映像提示や高品質な音響での学習が可能です。恵まれたICT環境は約100人の生徒がiRisホール内から個別にiPadを用いてオンライン会議へ参加してもトラブルなく参加できる環境で、生徒個人がiPadを駆使して参加し、活発な意見交換やオンラインポスターセッションができるほどの高速なインターネット環境を有しています。

ご挨拶

校長 小野 敬弘



翔朋会の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動に対しご理解とご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

三年以上にわたり学校教育にも大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症も、今年五月には「5類感染症」に引き下げられ、教育活動への制限もなくなりました。今年で三十四回目を迎えた多高祭も、四年ぶりに模擬店が復活し、保護者や一般の方々をお迎えして盛大に開催できました。

さて、本校は平成三十年四月からの五年間、文部科学省から指定を受け、スーパーサイエンスハイスクール(SSS-H)事業を展開して参りました。この事業は、約二十年前に、国が国際的に活躍しうる科学技術人材の育成を目指して始めたもので、この指定を受けるに五年間で三五〇〇千円の予算が学校に支給され

ますが、指定を受けるためには、研究開発のためのテーマを設定して、科学技術人材育成につながるカリキュラムの編成など、計画書を作成して文部科学省に申請します。県内の指定校は他に、仙台一高、仙台三高、古川黎明高の三校しかなく、本校は、主に災害科学科の教育活動を研究対象に、防災、災害を科学的に探究するというテーマで、被災地でのフィールドワークや防災系の研究施設での研修など、様々な取組をカリキュラムに組み込み実践してきました。令和五年三月で第一期五カ年の事業が終了となりましたが、非常に高い教育効果を得られたことから、令和五年度末に再度の指定を目指し、申請を行いました。この第二期については、より発展的な研究内容が要求されることから、その取り組みの内容を、地震、津波だけでなく地球環境や気候変動などに起因する自然災害にまで視野を広げるとともに、普通科の生徒にもフィールドワークや、先端研究施設研修として首都圏の研究所や大学に出向き実習や講義を受ける学習を設定しました。今年度は全国から八十校の応募があり、年度末に行われた厳正な審査を経て、指定五十五校の中に名を

連ねることができ、第二期として事業を継続できることになりました。これからの五年間の学習の中で、さらに新しい価値を創造し、多角的に考え、表現する力、自然災害や気候変動といった社会の諸課題を自分事として捉え、解決のために果敢に挑戦する力伸ばし、革新的な科学技術や社会システムの構築を切り開くパイオニア的な科学技術人材や、社会の諸課題解決に適用できる人材の育成を目指したいと考えています。

おわりに本校は、平成七年度に創立五十周年を迎え今年度からいよいよ準備委員会を設立します。これまでの五十年、そしてこれからの五十年を見据えた記念事業となるよう、翔朋会の皆様にもお力添えいただきますようお願い申し上げます。

生徒の活躍

弓道部 近田 理愛

私は多賀城高校に入学してから約二年間半、弓道部として活動していました。私が入学した時はコロナ禍真っ最中で、マスクをして部活を行い、声出し応援が規制されていた時期でした。先輩達が出場する予定だった大会も中止



思います。

県大会を終えて、インターハイ出場が決まり引退が延期になった時、みんなは真っ先に「引退延長にしてくれてありがとう！」と言って一緒に嬉し涙を流してくれました。すごく嬉しかったし、最後まで頑張ろう！とまた気持ちを改めることが出来ました。福島で開催された東北大会では自分の射形に納得がいかず、不安定な気持ちのまま大会に望んだため思うように結果が伸びず、悔しい思いをしました。そこから約一ヶ月間、自分の勉強が忙しいにも関わらず、弓道部三年女子のみんなと一緒に練習に付き合ってくれて、最後の調整を行いました。実際に試合が始まって弓を引くまで何が起るかかわからない競技なので、不安も沢山あったけれど、顧問の先生、そして部活のみんなに「自分を信じて！」と言葉を貰い堂々と弓を引いてくるのが出来ました。結果は、決勝には進めたものの、九位タイという入賞には届かないとここで終わってしまったけれど、自分が出来る最大限の実力を出せたと思っています。弓道と一緒に過ごした高校生活は私にとってかけがえのない宝物になったし、すごく大切な二年半になりました。

令和4年度事業報告

令和4年 6月10日(木) 第1回役員会
 9月 日() 第2回役員会↓中止
 10月 日() 第44回翔朋会総会↓書面決議、HPにも掲載
 令和5年 2月20日(月) 第3回役員会
 2月20日(月) 会計監査
 2月28日(月) 翔朋会入会式(第45回生)

令和5年度事業計画(案)

令和5年 6月9日(金) 第1回役員会
 9月8日(金) 第2回役員会 18時
 10月14日(土) 第45回翔朋会総会
 令和6年 2月13日(火) 第3回役員会
 2月29日(木) 翔朋会入会式(第46回生)
 6月14日(金) 会計監査

今年度の異動

★退職者

黒羽 強 齋職(倉庫) 多賀城高等学校
 上田 夏実 主事 退職
 早坂 琴美 業務補助員 退職

★昇任者

只野 聡美 主査 主事
 ★転入者
 佐々木芳恵 教頭 小生田農林高等学校
 近藤 昌人 教諭 古川高等学校
 菅原 弘樹 教諭 桜坂高等学校
 米澤 康平 教諭 桜坂高等学校
 佐藤 萌美 教諭 巨理高等学校
 板倉 汐里 教諭 広島県立御調高等学校
 村上 広大 教諭 新規採用
 森 健志郎 教諭 新規採用
 佐藤 若苗 実習講師 白石高等学校
 阿部 美歩 査査(事務) 東北産業博物館
 伊藤 未華 主事 新規採用
 大庭 璃々 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 吉田 涼太 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 鳴海 杏菜 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 佐藤 尚弘 非常勤講師 新規任用
 山崎 高嗣 非常勤講師 新規任用
 柏原 思 非常勤講師 新規採用

★転出者

八嶽美弥子 警備隊長 森緑総合センター
 小野 勝之 主幹教諭 工業高等学校
 三浦佳南子 教諭 仙台西高等学校
 狩野 織枝 教諭 宮城野高等学校
 穴戸 篤史 査査(事務) 森緑総合センター
 菅原 淳史 教諭 仙台第三高等学校
 佐藤 陽介 教諭 岩ヶ崎高等学校
 三浦 美香 実習講師 仙台南高等学校
 羽鳥 光貴 稽指(事務) 知事部局出高
 一條 佑香 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 富士原 潤 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 渡邊 芳幸 臨時の任用職員(欠員代替講師)
 菅原久美子 非常勤講師
 栗本 恵斗 非常勤講師

第45回生(令和5年3月卒業生)進路先 ※ ()内は、全体における災害科学科の人数

進路先(種類)	総合型・推薦	一般	合計
国公立大学	23(2)	29	52(2)
私立大学	70(17)	78(7)	148(24)
大学校			
短期大学	7	4	11
看護専門学校	4(2)	5	9(2)
専門・各種学校等	21(3)	5(2)	26(5)
公務員		8(4)	8(4)
民間就職		1	1
受験準備 他		18(3)	18(3)
合計	125(24)	148(16)	273(40)

国公立大学	総合型・推薦	一般	合計
宇都宮大学		1	1
高崎経済大学		1	1
千葉大学		1	1
都留文科大学		1	1
北九州市立大		1	1
名城大学	1		1
合計	23(2)	29	52(2)

私立大学	総合型・推薦	一般	合計
日本医療科学大学	1		1
国際武道大学	1		1
了徳寺大学	1		1
桜美林大学	1		1
成城大学	1		1
東海大学	2	1	3
東京経済大学		1(1)	1(1)
東京電機大学	1(1)		1(1)
東京農業大学	1(1)		1(1)
日本大学	1(1)	1	2(1)
文教大学	1		1
明星大学		1	1
早稲田大学		1	1
関東学院大学	1(1)	1	2(1)
人間環境大学		1(1)	1(1)
京都産業大学		1	1
太成学院大学	1(1)		1(1)
大阪電気通信大学		1	1
関西大学	1(1)		1(1)
合計	70(17)	78(7)	148(24)

国公立大学	総合型・推薦	一般	合計
弘前大学	2(1)		2(1)
岩手大学	3	2	5
岩手県立大学		2	2
東北大学	1		1
宮城教育大学	1	3	4
宮城大学	4(1)	3	7(1)
秋田大学		2	2
秋田県立大学		1	1
山形大学	9	10	19
福島大学	2	1	3

私立大学	総合型・推薦	一般	合計
石巻専修大学	1		1
尚絅学院大学	1		1
仙台大学	1(1)		1(1)
東北学院大学	20(4)	42(3)	62(7)
東北工業大学	2(1)	9	11(1)
東北福祉大学	9(2)	12(1)	21(3)
東北文化学園大学	2(1)	1	3(1)
東北生活文化大学	2		2
東北医科薬科大学	4	3(1)	7(1)
宮城学院女子大学	8(1)	1	9(1)
北海道情報大学		1	1
東北芸術工科大学	5		5
医療創生大学	1(1)		1(1)

短期大学	総合型・推薦	一般	合計
聖和学園短期大学	1	1	2
仙台青葉学院短期大学	6	3	9
合計	7	4	11

専門・各種学校等	AO・推薦	一般	合計
仙台ビューティーアート専門学校	1		1
デジタルアーツ仙台		1(1)	1(1)
東京法律公務員専門学校仙台校	5(2)		5(2)
東北電子専門学校	1		1
東北動物看護学院	1	1	2
東北文化学園専門学校	1		1
県外専門学校・各種学校	3	2	5
合計	21(3)	5(2)	26(5)

看護専門学校	総合型・推薦	一般	合計
仙台医療センター附属仙台看護助産学校	1	2	3
仙台市医師会看護専門学校	1(1)	1	2(1)
募会仙台看護専門学校	1		1
石巻赤十字看護専門学校	1(1)		1(1)
東北労災看護専門学校		2	2
合計	4(2)	5	9(2)

公務員	合計
国家公務員	1
裁判所職員	1
多賀城市職員 初級	1
塩釜市職員 初級事務	1(1)
七ヶ浜町職員	1(1)
自衛隊	3(2)
合計	8(4)

専門・各種学校等	AO・推薦	一般	合計
仙台 ECO 動物海洋専門学校	2(1)		2(1)
仙台医療秘書福祉専門学校	2		2
仙台ウェディング&ブライダル専門学校	1		1
仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校	1		1
仙台総合ビジネス公務員専門学校		1(1)	1(1)
仙台総合ペット専門学校	1		1
仙台デザイン&テクノロジー専門学校	1		1
仙台農業テック&カフェ・パティシエ専門学校	1		1

民間就職	合計
ANA スカイビルサービス株式会社	1
合計	1

令和4年度 翔朋会一般会計 決算報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

- 1. 収入の部 2,922,027 円
- 2. 支出の部 1,131,555 円
- 3. 残 高 1,790,472 円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,096,000	1,088,000	▲ 8,000	2,000円×272人 卒業時入会金 2,000円×272人 卒業時会費
年度会費	2,000	106,954	104,954	同窓生より振込 (56名一手数料)
繰越金	1,727,061	1,727,061	0	前年度より
雑収入	0	12	12	預金利息
合 計	2,825,061	2,922,027	96,966	

2. 支出の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	6,540	▲ 58,460	
会議費	20,000	4,020	▲ 15,980	役員会お茶等
通信費	15,000	2,520	▲ 12,480	切手代
需用費	30,000	0	▲ 30,000	
2. 事業費	1,250,000	825,015	▲ 424,985	
総会費	50,000	0	▲ 50,000	
会報費	300,000	251,604	▲ 48,396	会報印刷、HP管理委託
補助費	600,000	316,660	▲ 283,340	東北大会出場補助
記念品費	270,000	256,751	▲ 13,249	新入生校章、卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	1,210,061	0	▲ 1,210,061	
4. 繰り出し金	300,000	300,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,825,061	1,131,555	▲ 1,693,506	

残 額 1,790,472 円 次年度へ繰越し

令和4年度 翔朋会特別会計 決算報告

- 1. 収入の部 4,424,813 円
- 2. 支出の部 0 円
- 3. 残 高 4,424,813 円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	300,000	300,000	0	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	4,124,779	4,124,779	0	前年度繰越金
雑収入	0	34	34	預金利息
合 計	4,124,779	4,424,813	34	

2. 支出の部


令和4年度は事業なし

残 額 4,424,813 円 次年度へ繰越し

監 査 報 告

令和4年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年8月8日

監事 武田三弘 

令和5年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 2,878,500 円
- 2. 支出の部 2,878,500 円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,080,000	1,096,000	▲ 16,000	2,000円×270人 卒業時入会金 2,000円×270人 卒業時会費
年度会費	8,000	2,000	6,000	同窓生より振込
繰越金	1,790,472	1,727,061	63,411	前年度より
雑収入	28	0	28	
合 計	2,878,500	2,825,061	53,439	

2. 支出の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	65,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	役員会経費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	30,000	30,000	0	コピー用紙、ファイルなど
2. 事業費	1,281,000	1,250,000	31,000	
総会費	50,000	50,000	0	総会補助
会報費	300,000	300,000	0	会報発行・発送 225,000円 HP管理委託 66,000円 他
補助費	600,000	600,000	0	東北大会以上出場補助
記念品費	301,000	270,000	31,000	多高枚章バッチ (R5入学生) 400円×280個=112,000円 卒業証書ホルダー (R5卒業生) 700円×270人=189,000円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	1,232,500	1,210,061	22,439	
4. 繰り出し金	300,000	300,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,878,500	2,825,061	53,439	

令和5年度 翔朋会特別会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 4,724,813 円
- 2. 支出の部 0 円
- 3. 残 高 4,724,813 円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	300,000	300,000	0	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	4,424,813	4,124,779	300,034	前年度繰越金
雑収入	0	34	0	預金利息
合 計	4,724,813	4,424,779	300,034	

2. 支出の部

令和5年度は事業なし

